

書籍・印刷物への支出

- 家計調査（二人以上の世帯・単身世帯）結果より -

秋と言えば、「読書の秋」という言葉もありますが、皆さんは本を買って読んでいますか？図書館で借りたり、電子書籍で読んだりと読書スタイルは色々だと思います。

そこで今回は、書籍・印刷物^注への支出について、家計調査の結果をみてみましょう。

注 ここでは、新聞、雑誌・週刊誌、書籍を「書籍・印刷物」としています。

減少傾向にある書籍・印刷物への支出

まず、書籍・印刷物への1世帯当たりの年間支出金額について、平成14年から22年の推移をみると、14年の54,721円をピークに減少傾向にあります（図1）。

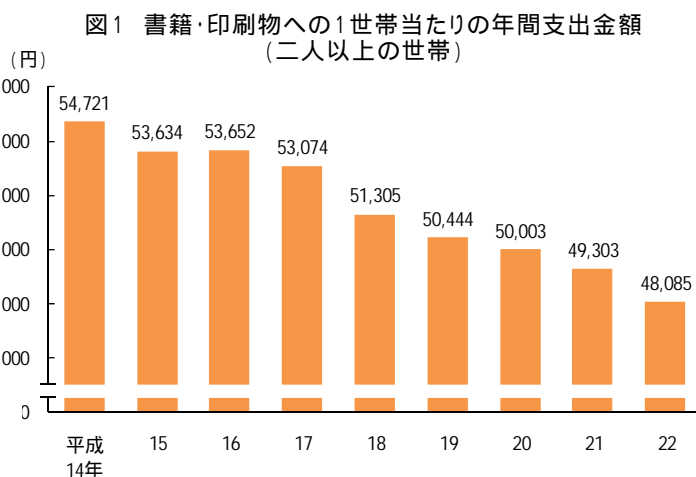
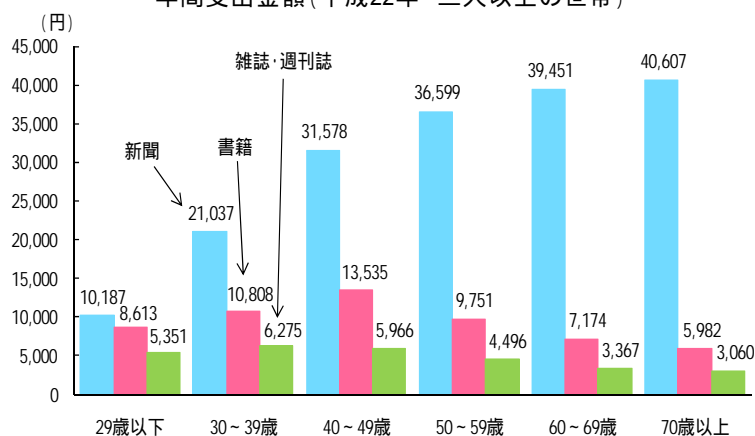


図2 書籍・印刷物への年齢階級別1世帯当たりの年間支出金額（平成22年 二人以上の世帯）



年齢が上がるにつれて増える新聞への支出

次に、書籍・印刷物への1世帯当たりの年間支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、年齢が上がるにつれて新聞への支出金額が多くなっており、70歳以上の世帯の支出金額は40,607円で、29歳以下の世帯の約4倍となっています。また、書籍は40～49歳の世帯で、雑誌・週刊誌は30～39歳の世帯で、それぞれ最も支出金額が多くなっています（図2）。

書籍への支出は男性の方が多い

最後に、単身世帯の結果で1世帯当たりの年間支出金額を男女別にみると、男性（40,464円）は女性（34,195円）の約1.2倍となっています。内訳をみると、新聞は男性より女性の方が支出金額が多くなっており、書籍と雑誌・週刊誌は、女性より男性の方が支出金額が多くなっています（図3）。

図3 書籍・印刷物への1世帯当たりの年間支出金額（平成22年 単身世帯）

